

第 1 回審議会意見等整理表

	質疑応答等の内容	
	主な質疑、意見等	会議での回答（意見のみの場合は拝聴）
賄材料費予算	【予算額】 令和 6 年度給食賄材料費の予算額はいくらか。	約 6 億円となっております。
	【予算額】 給食賄材料費約 6 億円の積算根拠はどのようなか。	1 日あたりの食数約 11,000 食に対し、年間給食実施日の 190 日、1 食あたりの単価をかけたものになります。
	【予算額】 積算根拠に使用している児童生徒数はいつ時点のものか。	令和 5 年 10 月 1 日時点の児童生徒数で積算しております。
給食費の無償化	【調査の実態】 給食費の無償化について、すでに実施している自治体も多い中で、そういった先進自治体の調査研究についてはどのように行っているか。	県内でも無償化を行っている自治体があることは把握しており、あわせて近隣市町の状況を注視しております。東海市としては無償化実施の予定はありません。
	【近隣市町の実態】 近隣市町の状況をご教授願いたい。	大府市は、中学校のみ無償、美浜町は、第 2 子は半額負担、第 3 子以降は無償、常滑市は、第 3 子以降は無償となっております。
食数の実態	【予算上の食数の内訳と実食数の差異】 1 日あたりの食数が約 11,000 食とのことだが、その内訳と長期欠席の児童生徒の食数を差し引いた実食数はどのようなか。	約 11,000 食の内訳でございますが、年度当初時点の数字を申し上げますと、明倫調理場で 4,388 食、加木屋調理場での 6,587 食、合わせて 10,975 食が総調理数となっております。毎日の給食の実調理数は、全校から 2 日前に受けた報告をもとに作成しており、長期欠席の児童生徒等の食数を差し引いた形で記録しているため、実食数に近いものとなっております。
給食（意見）	【給食への思い】 子どもから給食の話はよく聞いている。家庭の負担が増えることに抵抗感はあるが、子どもは給食を楽しみにしているので、しっかりとした給食を食べさせてあげたいという思いもある。	
	【急激でなければ値上げやむなし】 中学生と高校生の子どもがいる。高校生は弁当を作る必要があり、弁当と比較すると、給食費はかなり低価格で作られているため助かっている。物価高騰による値上げは仕方のないことだと思うが、急激な負担増加には賛成しない。	
	【エネルギー担保し健康への配慮を】 幼稚園では、価格が上昇した食材については、栄養士が代替食材を決定している。近頃では、魚や卵が減っているが、食材を変更したとしても子どもたちの健康やエネルギーを担保できる給食であってほしい。	
第 1 回から第 2 回に向けての要望	【要望要旨】 次回の審議会では、保護者負担額の 1 人当たりの年額を A 案、B 案、C 案それぞれわかる資料を提示していただきたい。加えて、現在、市が一般会計で負担している給食賄材料費についての資料も合わせて提示していただきたい。	第 2 回審議会において資料を提示。